リーグ戦文化の定着が日本のサッカーを変える!!

ADVANCE 創刊号

その経験、プライスレス

JFA 2005宣言

JFA 2005宣言より抜粋

1．世界のＴＯＰ 10入りするため。

2．年間を通じた基軸となるリーグ戦の重要性。
（ゲームの理解度を高める）

3．リスクにチャレンジし、選手が自らの力でたくましく育っていく環境を作る。

4．リーグ文化の醸成により、日常のサッカー・スポーツ文化の発展に寄与する。

5．ユース年代・低年齢でのゲーム機会を改善し、全ての選手が試合に出場する機会を持つ環境をつくる。
（可能性のある選手の発掘）

JFAリーグ戦創出に於ける５原則

JFA 2005宣言より抜粋

1．各種別とも基軸となるリーグ戦を年間通して行える環境を整える。8～9ヶ月にわたって20ゲーム程度をバランスよく配置する。
（降雪地域　6～7ヶ月/14～16試合）

2．リーグ戦は他のどの大会よりも優先してカレンダーを組む。

3．連盟などの大会はこれをリスペクトするが、その開催時期を連盟間で重ねてゆく。

4．JFA主催の全国大会は、リーグ戦をその母体とする。

5．全国大会はよりシンプルな形に戻し、リーグ戦の期間が十分取れるように配慮する。

アドバンスリーグ　年間スケジュール

2010年

4月	～ 9月	【担当：ｸﾗﾌﾞﾕｰｽ連盟】09-10ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾘｰｸﾞ大阪ﾚｷﾞｭﾗｰｼｰｽﾞﾝ
9月 4日	～ 3月下旬	大阪府U-13ﾘｰｸﾞ
8月 2日	～ 9月11日	知事杯大阪中学生ｻｯｶｰ大会（全日本ﾕｰｽU-15大阪府予選）
11月	～ 3月末	【担当：ｸﾗﾌﾞﾕｰｽ連盟】10-11ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾘｰｸﾞ大阪ﾌﾟﾚｼｰｽﾞﾝ
1月10日	～ 1月30日	ﾐｶｻ・大阪府3種育成ﾘｰｸﾞ U-14
2月 5日	～ 2月20日	大阪U-13ｻｯｶｰﾓﾙﾃﾝｶｯﾌﾟ

2011年

4月	～ 10月	ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾘｰｸﾞ大阪2011（1部～4部制、1回戦総当たり）
5月	～ 10月	大阪府U-13ﾘｰｸﾞ
8月上旬	～ 9月上旬	高円宮杯大阪府予選（2011年度のみ開催）

2012年

4月	～10月	ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾘｰｸﾞ大阪2012（1部～5部+地域ﾘｰｸﾞ、2回戦総当たり）
5月	～10月	大阪府U-13ﾘｰｸﾞ
11月		高円宮杯予選大阪ﾌﾟﾚｰｵﾌ

アドバンスリーグ

2012年以降の流れ（予定）

- 1部～5部＋地域ﾘｰｸﾞ
- 高円宮杯予選はﾘｰｸﾞから
- 年間を通じて2回戦総当たり

より参戦しやすいﾘｰｸﾞへ

- 4部ﾘｰｸﾞは大人（主審or G責任）1名で可能。副審は選手にて（主審は有資格者とする）
- 複数ﾁｰﾑ参加OK（ﾁｰﾑ編成は2・3年であればOK。但し、同一Divには在籍できない）
- 参加費が¥20,000-に変更（2010年度実績¥30,000-）

Road to 2012

- 2011年は本格的始動の2012年に向けてｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟする年
- 新規参入ﾁｰﾑは3部昇格のﾁｬﾝｽあり！
- 2012年以降の新規参入は5部からのｽﾀｰﾄの予定

VOICE

高槻市立第九中学校　　隠岐尚武氏

3種リーグ（アドバンスリーグ）に参戦して現在4年目のシーズンが終了間近です。
参戦するきっかけは源甲斐氏（現摂津FC）からの勧めでした。半ば脅しでしたが（笑）。今では源甲斐氏が背中を押してくれた事に感謝しています。
新しい取り組みにチャレンジするためには不安もありましたが、「勝ち切ることの大切さ」やリーグ戦ならではの「勝ち点を取る戦い・勝ち点を与えない戦い」を経験する事ができ、また、緊張感の中での長期のリーグを経験する事でプレーの質が上がり、選手が高校年代でサッカーを続ける意識の向上につながりました。
参戦するにあたってはチームの条件整備（Bチームの活動・スタッフの確保など）が急務ですが、選手は全員「学校の部活で上達したい！」と思っており、指導者として同じ3種年代を預かる以上、クラブチームの高い質とレベルを体感させる事はとても重要であると考えます。

VOICE

大阪今宮FC（大阪市立今宮中学校サッカー部）
稲田智英氏

練習試合はたくさんやってきましたが、公式戦では１回戦で姿を消すことが多かったため、強豪チーム等と比較すると圧倒的に公式戦での試合経験に差がありました。しかし、選手たちのサッカーに対する情熱は止まらず、「もっと上手くなりたい。強くなりたい」という気持ちは高まるばかりでした。そのような中、リベルタ大阪の柏木氏にリーグの話をいただきました。一番驚いたのは、私以上にリーグ戦への参加を望んでいたのは選手たちでした。「ぜひ参加したい。強いチームと試合できるんですよね」「試合に負けてもまた公式戦が待っている。（負けても）次の試合のために上手くなろう」という風に選手たちの意識も自然と高まっていきました。審判の問題もありましたが、卒業生の協力などの自助努力でなんとかクリアできました。現在、試合の結果は今一つですが、リーグに参加する指導者の方に支えられていることを感じており、楽しくリーグに参加させていただいております。一度皆様も、リーグへの参加を考えてみてはいかがでしょうか？

アドバンスリーグ　レギュレーション（抜粋）

【参加資格】
・(財)日本ｻｯｶｰ協会に第3種加盟登録したﾁｰﾑの選手で、2重活動選手は認められません
・参加選手は(財)日本ｻｯｶｰ協会の個人登録が必要です
【運営方法】
・ﾘｰｸﾞ戦は1部～4部で構成され、1部×1ﾌﾞﾛｯｸ、2部×2ﾌﾞﾛｯｸ、3部×3ﾌﾞﾛｯｸ、4部はｴﾝﾄﾘｰﾁｰﾑ数により、ﾌﾞﾛｯｸ数を決定します
・新規参加される場合は、4部ｽﾀｰﾄとなります
・2011年度の結果は2012年度のﾘｰｸﾞ戦に反映されます
・ﾘｰｸﾞ戦期間は、4月から10月末までです
・試合の日程組は、各ﾌﾞﾛｯｸのﾌﾞﾛｯｸ長を中心に、日程が組まれます（1部・2部はﾘｰｸﾞ戦Dayを設定）
【審判】
・帯同審判は18歳以上の有資格者が1部～3部は2名、4部は1名必要です
・4部ﾘｰｸﾞについては、副審は選手でも可能です
【ﾕﾆﾌｫｰﾑ】
・ﾕﾆﾌｫｰﾑは正・副(GKを含む)の2色を必ず用意しなければならない
【費用】
・大会参加費　¥20,000-（会場提供ﾁｰﾑには会場費として¥1,000-/1試合が支払われます）
・J-Green堺を使用する場合は、別途ｸﾞﾗﾝﾄﾞ代がかかります

リーグ戦に関するQ&A

Q：2012年度以降どういう形になるのか？
A：日本協会からの通達で高円宮杯予選（知事杯）はなくなり、ﾘｰｸﾞ戦のみになる予定です。
高円宮杯予選もﾘｰｸﾞ戦から大阪府の代表を選出します。

Q：今年度、登録せずに2012年度から登録すると4部からのｽﾀｰﾄになるのか？
A：参加ﾁｰﾑ数にもよるが、5部からのｽﾀｰﾄとなる可能性もあります。
今年度、登録すれば4部からのｽﾀｰﾄとなり、3部への昇格の可能性もあります。

Q：昨年度と今年度の試合数の増減は？（ﾘｰｸﾞ戦に出場していないﾁｰﾑに対して）
A：昨年度の最低試合数は知事杯1試合、ﾐｶｻ5試合、ﾓﾙﾃﾝ3試合。
今年度は高円予選1試合、ﾘｰｸﾞ戦約9試合（ｴﾝﾄﾘｰﾁｰﾑ数によって若干変動）です。

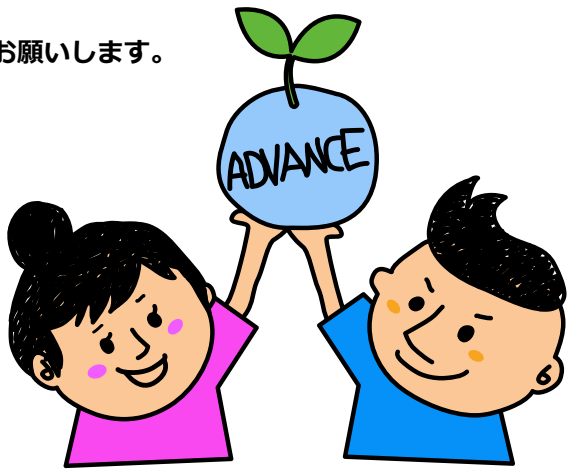
Q：ﾘｰｸﾞ戦の日程の決め方について①
A：1部・2部ﾘｰｸﾞに関しては「ﾘｰｸﾞ戦Day」を設け、基本的にその日程で設定します。
3部ﾘｰｸﾞ以降に関しては各ﾌﾞﾛｯｸにおけるﾌﾞﾛｯｸ長を中心に日程を決定します。

Q：ﾘｰｸﾞ戦の日程の決め方について②
A：会場提供日程と参加可能ﾁｰﾑ日程とのﾏｯﾁﾝｸﾞを経て日程を組む事とするが、ﾌﾞﾛｯｸ長の負担軽減およびｽﾑｰｽﾞﾞな
ﾘｰｸﾞ運営のために指導者個人の事情等は考慮しません。学校行事等は配慮しますが、参加ﾁｰﾑは基本“ﾘｰｸﾞ戦を中心とする日程”に協力する事とします。

Q：ﾘｰｸﾞ戦参加したいがｸﾞﾗﾝﾄﾞがなくても参加できるのか？
A：可能です。ただ、「会場提供できない。日程も協力できない」となるとﾌﾞﾛｯｸ長に負担を大きくかけてしまうので、日程調整には十分な協力をお願いします。

Q：審判が1人しかいないが参加可能か？
A：今年度より4部ﾘｰｸﾞにおいては審判1名（有資格者）で可能としました。
副審は選手で行います。3部ﾘｰｸﾞ以上は主審も副審も大人の有資格者で行います。

Q：1日2試合は可能か？
A：ﾘｰｸﾞ戦（公式戦）の1日2試合実施は基本的には認めておりません。



リーグ戦に関するQ&A

Q：B戦は同会場で可能か？
A：試合会場の状況によります。状況次第なので確約はできませんが、多くの会場が工夫してB戦を組んでいます。

Q：有料会場を使用した場合の使用料はどうなるのか？
A：使用した全当該ﾁｰﾑで負担します。

Q：顧問の転勤等により現在審判のﾗｲｾﾝｽがないが参加可能か？
A：4月の審判講習会に必ず参加し、取得をしてください。
【講習会開催日程】3月20日・4月3日・4月16日　※詳細および申込は（社)大阪府ｻｯｶｰ協会審判委員会HP参照のこと

Q：移動のことを考えて地域性を考慮したﾘｰｸﾞにはならないのか？
A：未確定ですが、2012年度以降は1部～5部＋地域ﾘｰｸﾞのような形になると思われます。

Q：詳しく変更点やﾘｰｸﾞ戦の説明を聞きたい
A：4月3日に説明会を実施します。詳細は別紙にてご確認下さい。

Q：ﾕﾆﾌｫｰﾑについて
A：2着、必ずﾏｰｸ・ﾃﾞｻﾞｲﾝまでそろえておいてください。ﾋﾞﾌﾞｽは不可です。

Q：PCやﾒｰﾙを使うことができないがﾘｰｸﾞ戦に参加は可能か？
A：可能です。但し、ﾘｰｸﾞに関する連絡・案内はﾒｰﾙにて行いますので、ﾀｲﾑﾘｰにﾒｰﾙを確認できる環境を整えて下さい。

Q：どのような1日になるのか想像できません・・・
A：会場によりけりの部分もありますが、2010年度に実際にあった日程をご紹介します。

【例1：全日会場】○○会場

9:30～	«ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾘｰｸﾞ»	ﾁｰﾑA	vs	ﾁｰﾑB
10:45～	«ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾘｰｸﾞ»	ﾁｰﾑC	vs	ﾁｰﾑD
12:00～	«ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾘｰｸﾞ»	ﾁｰﾑE	vs	ﾁｰﾑF
13:15～	«B戦»	ﾁｰﾑA	vs	ﾁｰﾑB
14:15～	«B戦»	ﾁｰﾑC	vs	ﾁｰﾑD
14:15～	«B戦»	ﾁｰﾑE	vs	ﾁｰﾑF

【例2：午後会場】▲▲会場

14:00～	«ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾘｰｸﾞ»	ﾁｰﾑA	vs	ﾁｰﾑB
15:15～	«ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾘｰｸﾞ»	ﾁｰﾑC	vs	ﾁｰﾑD
16:30～	«B戦»	ﾁｰﾑA	vs	ﾁｰﾑB
17:00～	«B戦»	ﾁｰﾑC	vs	ﾁｰﾑD

VOICE

(社)大阪府サッカー協会 専務理事 藤縄信夫氏

日頃より本協会の事業に温かいご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。
世界のTop10に入る」という大きな夢を果たすために（財）日本ｻｯｶｰ協会より『JFA2005年宣言』が宣言され、いよいよ実行の年を迎えました。
ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾘｰｸﾞはその形を様々に変えながらも、脈々と運営されてきましたが、2011年度は今まで以上にﾊﾞｰｼﾞｮﾝｱｯﾌﾟし、その姿を充実させようとしております。帯同するﾁｰﾑｽﾀｯﾌ数や参加費などに工夫を凝らし、皆が参加しやすいような環境を整え、“3種年代全体で”ﾘｰｸﾞ戦を作っていこうと試みております。この取り組みは「ﾘｰｸﾞ戦文化」を熟成させ、また日常のｻｯｶｰ・ｽﾎﾟｰﾂ文化の更なる発展に寄与できる事と確信しております。
J-Green堺が完成し、“設備環境”は一定のレベルで整いました。次は“試合環境”です。
子どもたちだけでは変える事ができない“環境”についてぜひ皆さんと一緒に整えていきたいと考えております。

VOICE

(社)大阪府サッカー協会 第3種委員長 北谷辰彦氏

サッカーは発想で変わるスポーツであるといえます。まず、チームがどういう発想で作られているかでゲーム運びが変わる。引いて守ってカウンターが得意なチームと、相手にボールを渡さずにずっと攻めたいという発想のチームでは、自ずと違うサッカーの進め方になってしまいます。二つめは育成年代の大切なことのなかで、指導者自身における最初の発想が、たとえば、『テクニックと駆け引き』とするか、『勝利』とするかで、選手個人のその後の成長の差は著しいと考えられます。リーグ戦においても、毎試合トーナメントのような緊迫感のあるゲーム運びと、トライ＆エラーを認める環境を与え、選手の築き（気づき）を支えるという発想では選手に与える影響にも大きな違いが生じるのではないでしょうか。現在、世界最高のクラブチームと云われているFCバルセロナのサッカーは、「フットボールのハンドボール化」と称されています。この傾向が世界で続くなか、日本がトップ１０を目指すなら、育成年代に関わる人たちの発想がとても重要ではないかと感じます。JFAは、そのひとつが、年間を通じたリーグ戦だと伝えています。